

言葉を

言葉を投げかけて
お前を奪はう
純粹のほほゑみに
魅入られて私は思ふ

詩人なのだから
手紙を書かう
あの日のように
あたたかい街角をまがって

私たちは歩きませんか
夜もふけて星は流れる
白じろと尾をひいてゐる

お前の髪に指をからませ
つめたい顔を抱きしめたい
私はやさしい詩人なのだから